

小笠原諸島世界自然遺産  
地域連絡会議事務局

## 地域課題検討ワーキングの設置について

### 1 設置目的

平成23年6月、小笠原諸島が世界自然遺産に登録され、今後、この貴重な自然を将来に渡り、より良い形で後世に引き継いで行く必要がある。この遺産価値の保全管理を、地域の人々の小笠原諸島の遺産価値に対する正しい理解、保全対策等への協力、島の自然と共生した生き活きとした暮らしとともに実現していくため、小笠原諸島世界遺産地域連絡会議（以下、地域連絡会議という。）の下に実務者を中心とした地域課題検討ワーキングを設置する。

### 2 位置づけ等

「世界自然遺産地域小笠原諸島管理計画」の管理の方策の中で、特に地域住民と関わりの深い部分等について、課題の洗い出し及び検討を行う。

検討結果は、「小笠原諸島世界自然遺産 地域アクションプラン（仮称）」を作成するとともに、地域連絡会議への報告、科学委員会への検討依頼など、対策の推進に反映させる。

### 3 構成

- (1) 地域連絡会議の参画団体のうち実務を担当する者
- (2) 利害関係者など地域課題検討ワーキングの構成機関が必要と認めた者

### 4 検討事項

地域課題検討ワーキングは以下について必要な検討を行う。

- (1) 小笠原諸島の自然環境を保全していくための事項
- (2) 小笠原諸島の自然環境や対策について理解していくための事項
- (3) 小笠原諸島の自然環境を活かして豊かな暮らしを実現するための事項
- (4) その他1の設置目的を達成するために必要な事項

### 5 その他

本ワーキングの設置にあたり、次回の地域連絡会議開催までは、地域課題検討ワーキング（準備会）という。